

グリーン・ウェーブ 臨時号 GREEN WAVE グリーンコープのうねりを地域へ

※8月28日週発行「GREENWAVE 9月号」2～3面に「第二十三期通常総代会」の当日の意見交換の様子が掲載されますので、こちら併せてお読みください。

発行●グリーンコープ生協ふくおか 理事会
編集●広報委員会
福岡市博多区博多駅前1-5-1博多博通ビルディング3F
TEL●092-482-7770 (代)
ホームページ●http://www.greencoop.or.jp/

はじめに
6月8日に第二十三期臨時総代会が開催されました。
第一号議案「みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡せるようにグリーンコープはカーボンニュートラルに取り組みます。賛同する人が財源を出し合い、この運動に参加する人を増やしていきます。」について審議し、賛成多数で可決されました。
この「GREENWAVE臨時号」では、臨時総代会当日に出された質疑応答、ご意見についてダイジェストで紹介いたします。

来賓挨拶



株式会社鳥越ネットワーク 鳥越 耕輔さん

私たち農家から見たこの間の気候変化について話したいと思えます。私が農業を始めたのは、2003年3月頃です。それから20年程経ちました。実家に戻り農業を始める条件として、父が面積3.5反、1050坪ほどのハウスを建ててくれました。夏場のトマトは父が生産していましたが、暖房を焚いて作る冬場のトマトの栽培をその頃から始めました。当初は、重油140円、50円ほどで経営は大丈夫でしたが、4、5年後から重油代が倍近くに上がり、そこで冬越しのトマトは断念しました。トマトは最低でも気温が11℃、12℃必要で、当初は3月中旬頃まで暖房を使用していました。最近では朝の冷え込みが強く、4月下旬まで暖房を使用している状態です。冬越しのトマトではないですが、余計に重油代かかっています。最近の気候は、冬が長くなったというより、春がなくなった感じがします。急に夏になるようなイメージです。通常であれば、3月下旬から春を感じ、ゴールデンウィークが明けた頃から気温が20℃を超えはじめ、6月に梅雨に入り、7月上旬には梅雨が明け、お盆までは暑く、お盆過ぎると気温が下がり、野菜が育ちやすくなっています。

た。しかし、ここ最近では、3月に定植時期をずらしても4月下旬まで暖房を焚かないといけない。そうかと思えば、5月には25℃を超えるような夏日になる。まさに冬から夏になっている状態で、トマトもびびりです。日焼けで出荷できないのは怖いので、ハウスの上に寒紗という日よけを掛けるのですが、とても大変な作業です。ようやく梅雨入りで日照時間が少なくなり慌てて寒紗を取るような状況です。作業が増えることも大変ですが、最近の雨は、降りだしたらとんでもない雨量で、ハウスの中にも浸水し、トマトが実割れします。このような状況は、ここ5、6年の間で増えています。また、収穫期間も昔より2週間ほど短くなっています。春と秋がなく、暑さ寒さが続き、暑さが続く、と虫の被害が増え、アブラムシなどの発生がかなり増えていっています。今、鳥獣被害が深刻です。皆さんが想像している以上に中山間地域では苦しめられています。私が幼い頃は、鹿、イノシシ、アナグマ、ハクビシン、イタチ、テンなど見たことがなかったです。それがここ5、6年で、異常に発生しています。原因として考えられるのは、太陽光発電所です。グリーンコープの太陽光発電所は、新たに開拓せず平地を利用していますが、多くの太陽光発電所は、日当たりのいい山の斜面に作られています。そのために山を削り、民



百姓倶楽部八女の郷 松尾 高生さん

松尾農園グループ、農産物の出荷としては百姓倶楽部八女の郷の代表をしております。松尾高生と申します。にんにく、キウイフルーツを生産しています。にんにくは、3町ほど、植え幅が大体1mで、3kmくらいの面積です。一昨日、何とか今年の収穫が終わったところで、父の代からグリーンコープさんにお世話になっております。祖父の代はみかん農家でした。当時、ピカピカした綺麗なみかんが価値があり、美味しいということでも育っていました。順調だったようですが、やはりピカピカしたみかんを作らないといけません。そのために農薬をたくさん使わないといけません。かぶれたり、また、昔は農薬を使用した日は酒を飲んではいけない、酒で毒が回って死ぬということも言われていま

した。父と祖父は、農家が体を痛めながら作った農産物を消費者に届けていいのだからかという疑問を持ち、無農薬、減農薬の生産方法を勉強し始め、結果としてグリーンコープとの縁ができました。私はグリーンコープ生産者として2代目となります。15年ほど前、私が29歳の時に代表になりました。グリーンコープには相当に助けをいただきました。この場にお礼です。父の代からにんにくを30年ほど育てていますが、9月の下旬に植えたいものが5月の中旬に収穫できていました。ところが現在、私の代では、10月の下旬頃まで植え付け時期を遅くしないと、まともなものが採れないというような変化が起きています。育てている8片種にんにくは、病気に強く美味しいのですが、気候にとてもデリケートです。何が起きるかというところが付くのですが、実が入れない、玉ねぎのように、剥いてみても粒がなく食べるところがないものになってしまっています。収穫が終わると、今週から晴れ間はハウスに堆肥を入れ、冷害対策に牧草を入れました。年に1回の収穫のために、収穫後からすぐにスタートし、1年かけて一生懸命に、汗だらけになり草を取り、やっと収穫となります。それが7、8年前です。それが、6割が玉ねぎ状態でもって絶望しました。その年に上手に育てた仲間のにんにくを見にいきました。きちんと種を抱いていました。10、12cmと根深く植えることによつて、外の皮がきちんと土の中に入るから、実が綺麗で外の皮が割れない立派なにんにくができるということをやってきました。しかし、話を聞いてみると、高冷地の方がいいにんにくが採れるようになり、また、浅植えといつて、地表からあまり深く植えない方が、実は割れるがきちんと実になるように育てた。色々と調べると、冬が温かいといふことが、その時に分かりました。それから、様々な地域の農業支援センターや産地で



共同購入ワーカーズ連合ふくおか 河村 紀子さん

いく中で分かったのは、にんにくは5℃以下の日が30日以上ないと、成長から種を残す段階への切り替えが起これにくいということでした。それから毎日、気象庁の八女地区のデータを取って、条件を見極め、祈るような気持ちで毎年収穫を迎えている感じでした。我が家の実験用の畑で、1m単位で9つに区切り、植え付けの深さや肥料など様々な条件でのサンプルでデータを取っています。自分を安心させる材料を探している部分から近い条件を見つけて、実が取れないのはこれくらいだろうから大丈夫だろうなどと分析しています。その延長でもあるのですが、パソコンで繋ぎ1200倍ほどズームができる電子顕微鏡を通販サイトで購入しました。八女はイチゴの栽培も盛んですが、花芽分化といつて、植えた種がきちんと赤ちゃんの芽になるかを早い時期に顕微鏡で確認するなどの、様々なことを取り入れながら生産を行っています。が、明らかに結果も悪く、早めに分かれればグリーンコープにも相談できます。何より、蓋を開けてびっくりするのは、汗をかきながら一生懸命やってきたことを考えると、とても気分が落ち込みます。それでも畑によつても条件は違い、収穫をして選別しながら、ワクワクというようにドキドキしながら今年も無事終了という感じがします。農家にとって天候はコントロールできないものでもなく、天気も温暖化に向かっていくといふのは、私の日々の生活と切っても切れない部分があります。個人としても少しでもできることはやって、農家としても次の代に繋いでいきたいと思っています。今ある材料と条件の中で、どのように設計すればきちんと育つかを試行錯誤している日々です。私自身の悩みでもありますが、良いにんにくができれば、皆さんに元気を届けられるという思いで続けています。少しずつの積み重ねで、良い未来が開かれれば良いと思います。どうもありがとうございます。

共同購入ワーカーズ連合ふくおか福岡西の代表の河村と申します。現在、福岡西支部では45台のEVトラックが配送現場で活躍しています。共同購入ワーカーズが、カーボンニュートラルに向かい、配達で頑張っている様子や、共同購入ワーカーズの夢を形にしたいという思いをお伝えしています。EVトラックが導入されてからの率直な思いを、ガソリントラックとEVトラックの比較を紹介いたします。ガソリントラックでは、運転席も荷台も床が高く乗り降りが負担で、それに加え中腰の荷担り作業で体への負担はダブルパンチでした。また、夏場の気温上昇は年々酷さを増しています。少数の若手とともに、50代60代の配送ワーカーが、悪天候や酷暑の中でも組合員へ商品をお届けしています。男性ワーカーも増えてきましたが、女性ワーカーが多数を占めています。長年頑張っている元気な女性ワーカーでも、なかなか厳しい仕事です。現場の叫びは切実です。真夏日の配達は、水分と塩分が際限なく必要なる状況です。空調服が涼しくする工夫はしていますが、空調服の振動が苦手なワーカーは、水分補給しながら汗だくで配達しています。支部に戻ると冷蔵庫の前室でクールダウンすることもありますが、配達担当者には、組合員の皆さんに一番近い存在です。組合員からの感謝の言葉は、長く働き続けたことの財産となっています。グリーンコープの仲間作りも大切な仕事です。グリーンコープ運動を広げていくことも多々あります。新商品の案内をしたり、組合員からおすすり商品を教えてもらうというような、コミュニケーションもこの仕事の醍醐味です。酷暑対策や、乗り降りの負担軽減の検討の中で、冷蔵車や車高の低いガソリン車のことなどを調べていますが、費用面で断念しています。そのようなときに、配送の仕事の負担軽減を考えて作られるEVトラックに出会いました。ウォークスルータイプのEVトラックは、運転席から直接荷台に移動できるという夢のような仕様に、とてもワクワクしたことを覚えておきます。脱炭素に向かう上でも、EVトラックは意味を持っています。しかし、現状では福岡西支部、小倉北支部以外がガソリン車で配達を行っています。EVトラックには、ウォークスルータイプだけではなく、積載量が多い配達コースにも対応できるように運転席と荷台が分かれていく架装タイプもあります。福岡西支部は、屋根に太陽光発電設備があります。その電力を無駄なく利用するために、電気の利用ピーク時を避けた計画充電を行っています。グリーンコープは1988年から、みどりの地球をみどりのままという確かなビジョンがあり、私たちワーカーズも組合員とともに、4R運動や地球環境のことに積極的に取り組んでまいりました。私たち共同購入ワーカーズは、グリーンコープの安心・安全な商品をお届けすることを誇りに思います。しかし、今までのトラックでは、毎日の配達で二酸化炭素を排出し続けます。このままの私たちが、地球温暖化を止められませんか。地球温暖化の深刻さを知り、私たち共同購入ワーカーズは、これまで意識していなかった脱炭素を目指すことに向かつて歩み始めた。EVトラックは、地球にも共同購入ワーカーズにも欠かせない存在です。グリーンコープのワーカーズであるからこそ、地球に優しい人でありたいと思っています。いつも支えてくださる組合員の皆さんも、みどりの地球をみどりのまま子どもたちに、という思いは同じだと思います。今回はこのような機会いただきありがとうございます。感謝申し上げます。

開会宣言
議長選出
署名提出

議長本日署名を持って来られて... 議長選出... 署名提出... 開会宣言...



議事録署名人選出
書記任命
総代会運営規約第6条
に基づき、議事運営委員
会を設置
議長を補佐する議事運
営委員の選出・協議
本日の進行について議
事運営委員より提案

議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認... 議事録署名人選出... 書記任命... 総代会運営規約第6条...



西岡専務 原案でもカーボンニュートラルに向かっている... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認... 議事録署名人選出... 書記任命...

ばかりだと理言された。講演会が始まる前に言われた。今日の講演会を受けて、私たちはこれか考えています... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

坂本理事長 議案提案を行う... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認... 議事録署名人選出... 書記任命...

総代C 先ほどの方は「今日は採決をするべきではない」と言われたが、それなら以前にストップをかけるべきだ... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

総代D たゞ少数者であっても強い感情だけがある根拠のある反対意見がある場合には、採決しないほうが多いと思うが、進めたい方も多いため、誰も心配も無い方法で進むべきだ... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

ど、多様な方法で提出できる仕組みを検討する... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認... 議事録署名人選出... 書記任命...

とを厚くしていければいい。総代B 9月の臨時総代会も「延期してください」と署名を出した。私たちが会話しただけで、9月の臨時総代会は、組合員が知る前に決めたのはおかしい... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 スケジュールにそって議事を進めさせていただきます。総代C 先ほどの方は「今日は採決をするべきではない」と言われたが、それなら以前にストップをかけるべきだ... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...



議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認... 議事録署名人選出... 書記任命... 総代会運営規約第6条... 議長を補佐する議事運営委員の選出・協議...

議長 「みどりの地球をみどりのままで、子どもたちに手渡せるように、グリーンカーブの導入や1%値上げの導入が知らなかった。9月の臨時総代会は、組合員が知る前に決めたのはおかしい... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 「みどりの地球をみどりのままで、子どもたちに手渡せるように、グリーンカーブの導入や1%値上げの導入が知らなかった。9月の臨時総代会は、組合員が知る前に決めたのはおかしい... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 スケジュールにそって議事を進めさせていただきます。総代C 先ほどの方は「今日は採決をするべきではない」と言われたが、それなら以前にストップをかけるべきだ... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認... 議事録署名人選出... 書記任命... 総代会運営規約第6条... 議長を補佐する議事運営委員の選出・協議...

議長 「みどりの地球をみどりのままで、子どもたちに手渡せるように、グリーンカーブの導入や1%値上げの導入が知らなかった。9月の臨時総代会は、組合員が知る前に決めたのはおかしい... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 「みどりの地球をみどりのままで、子どもたちに手渡せるように、グリーンカーブの導入や1%値上げの導入が知らなかった。9月の臨時総代会は、組合員が知る前に決めたのはおかしい... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 スケジュールにそって議事を進めさせていただきます。総代C 先ほどの方は「今日は採決をするべきではない」と言われたが、それなら以前にストップをかけるべきだ... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...



議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認... 議事録署名人選出... 書記任命... 総代会運営規約第6条... 議長を補佐する議事運営委員の選出・協議...

議長 「みどりの地球をみどりのままで、子どもたちに手渡せるように、グリーンカーブの導入や1%値上げの導入が知らなかった。9月の臨時総代会は、組合員が知る前に決めたのはおかしい... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 「みどりの地球をみどりのままで、子どもたちに手渡せるように、グリーンカーブの導入や1%値上げの導入が知らなかった。9月の臨時総代会は、組合員が知る前に決めたのはおかしい... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 スケジュールにそって議事を進めさせていただきます。総代C 先ほどの方は「今日は採決をするべきではない」と言われたが、それなら以前にストップをかけるべきだ... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認... 議事録署名人選出... 書記任命... 総代会運営規約第6条... 議長を補佐する議事運営委員の選出・協議...

議長 「みどりの地球をみどりのままで、子どもたちに手渡せるように、グリーンカーブの導入や1%値上げの導入が知らなかった。9月の臨時総代会は、組合員が知る前に決めたのはおかしい... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 「みどりの地球をみどりのままで、子どもたちに手渡せるように、グリーンカーブの導入や1%値上げの導入が知らなかった。9月の臨時総代会は、組合員が知る前に決めたのはおかしい... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 スケジュールにそって議事を進めさせていただきます。総代C 先ほどの方は「今日は採決をするべきではない」と言われたが、それなら以前にストップをかけるべきだ... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認... 議事録署名人選出... 書記任命... 総代会運営規約第6条... 議長を補佐する議事運営委員の選出・協議...



議長 「みどりの地球をみどりのままで、子どもたちに手渡せるように、グリーンカーブの導入や1%値上げの導入が知らなかった。9月の臨時総代会は、組合員が知る前に決めたのはおかしい... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 「みどりの地球をみどりのままで、子どもたちに手渡せるように、グリーンカーブの導入や1%値上げの導入が知らなかった。9月の臨時総代会は、組合員が知る前に決めたのはおかしい... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 スケジュールにそって議事を進めさせていただきます。総代C 先ほどの方は「今日は採決をするべきではない」と言われたが、それなら以前にストップをかけるべきだ... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...

議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認... 議事録署名人選出... 書記任命... 総代会運営規約第6条... 議長を補佐する議事運営委員の選出・協議...

議長 「みどりの地球をみどりのままで、子どもたちに手渡せるように、グリーンカーブの導入や1%値上げの導入が知らなかった。9月の臨時総代会は、組合員が知る前に決めたのはおかしい... 議長 議事運営委員会からの提案に異議がなければ承認...



棚町常務 これまで車はリースで、リース契約ごとに継続するか毎月お返しする。車は傷んでいる分は替えるので、そのタイミングで変更をEV車にしていく。財源は、トラックをリースする費用が毎年毎月発生し、それについて予算化し、総代会でも了解いただき、その範囲で入れ替えている。今回導入した福岡西の35台と、小倉北の13台については、事業の範囲内で出せる分で賄えるので、今回、1%出してもいいという方からいただくということが、今日採決されて、全体でもそのように進んでいけば、そのお金は今から入れる分に使われる。今ある車については、皆さんがこれからは出す分を使わなければならないという状況ではない。

総代J 身近な知り合いの友人が、元々原発自体は反対だったが、最近電気料金が上がるぐらいなら原発を早く始めてほしいと言った。同意されない組合員からは拠出しない、より多くの組合員に賛同していただくようにという意見のもとで話す。電気料金を払うのが大変だという方が今増えている。生協で私たちが学んでいることを知ってほしい。もっと多くの方に組合員になってほしい。財源の集め方についてカンパの受け入れなど、多様な方法で拠出できる仕組みを先に検討し、それでも駄目だったら、1%という話を持っていかれたらどうか。

総代K カーボンニュートラルのことを学びたいと思っ

総代M 色々な思いがある

年の臨時総代会に出た。人が少なかったが、おかしき意見を出された。数少ない中で決まっていた。少ない意見、地域委員会に持って帰らせてくださいと意見を出した。グリーンカーボンでんきを見学した。カーボンニュートラルは、二酸化炭素が増えるから温暖化対策のためにEV車にしようじゃないか、グリーンカーボンでんきがあるからEV車を使っていくかと思つた。EV車を使うには、今の財源では足りない。協力お願いできませんかという声かけがあったら、皆納得するのでは。言葉の使い方、伝え方の違いで変わるのではないかと思う。グリーンカーボンは4R以前から取り組んでいたが、最近SDGsと世界が騒ぎ出した。それがグリーンカーボンは意識が高い。グリーンカーボンでんきがあるので、それをぜひ利用してほしい。少しでも良いと思つていることはやらないと進まない。間違えればまた修正すればいい。少しでも取り組み、集まれば大きな力になる。



総代L 少しモヤモヤしているのは、カーボンニュートラルはイコールEV車で、「みどりの地球をみどりのままで子どもたちに手渡せるように」とあるが、EV車で防ぐことになるのか前から疑問に思う。緑の地球を守るとか、地球に優しい人でありたいならば、動物などにも目を向け、農家が被害に遭わないように、動物も地球も人もいい状態になれるような取り組みだったら財源を出したい。カーボンニュートラルについて、EV車を調べたが、私はアメリカかと思つた。バッテリーや太陽光パネルもゴミになる。未来の子どもたちの世界がゴミだらけにならないように考えてほしい。

が、皆さんグリーンカーボンのことが好きなのだと思います。理事の方が考えが間違つていたらと謝り、この訂正の議案書が今日で上がり、それに対して地球をみどりのままで子どもたちに手渡せるように、グリーンカーボンはカーボンニュートラルに取り組みます」と書いています。これが一番原点なのではないか。子どもたちに緑の地球を緑のまま手渡すように、グリーンカーボンはコツコツ頑張っている。やるかやらないか、未来の子どもたちのために、緑の地球を残すか残さないかを決める会であるべきだと思います。

坂本理事長 今回は1%出したい方は出す、出さなくてもいい方は出さないという議案で提案している。しかし、早急に準備していく。最終的には1%に賛同する方が1%出さなくてもいい方法がいいか、色々な形で選べることを組合員に伝えられるように選んできたら一番いい。電気の話からグリーンカーボンでんきを使うように、EV車を利用していいか、使っていくかという話。伝え方一つで変わるという意見は、本当にそうだと感じた。電気の話は、学習会等もぜひ考えて色々取り組みたい。動物も人も地球を守る取り組み、グリーンカーボンだからできる。前回の臨時総代会の話聞いて今日参加した。グリーンカーボンを好きな方が色々な思いを持って今日集まっていたのだ、と感想としていただいた。今日はカーボンニュートラルをするかしないかを決める方がいいのではないか。その後で、どのような方法にするか話し合った方がいいのではないかと。お話を聞いて、取り組みたい方がお金を出す、取り組みたい方はお金を出さないというの、参加したい人が参加できる、参加したくない人は参加しない、自分たちで選んでいける提案だ。今後もカーボンニュートラルはどのような方法がいいのか、地球を守る活動としてどんな方法に取り組み方がいいのかなど、財源の進め方も含めて、色々な



とを皆さんからアイデアをいただきたい。EV車に変えたい、それだけの目的ではない。第1の目的は地球を守りたい、子どもたちにみどりの地球を守って届けたい。今できることとして進めたい方がいるのであれば、その方たちと一緒に進めていくという提案を審議していただきたい。

西岡専務 自然と人の共生を、と意見をいただいた。現在、グリーンカーボンとして取り組んでいることをお伝えする。耕作放棄地で麦の栽培を取り組み、地域の環境を守ることも取り組んでいる。農産物の固定価格買い取り制度や、農業を守っていく意味で言えば、後継者を育てる取り組みの農業塾等も行っていい。今後も様々な意見をいただき、取り組んでいく。太陽光パネルのことも、意見をお願いしたい。自然破壊に繋がるような太陽光パネルの設置というのは本当に良くない。見学した方は分かんないと思うが、糸島に太陽光発電所を設けている。そもそも廃校となった自動車学校の跡地で荒れ放題になっており、そこそ治安が心配だとの地域の声があり、そのことに対してグリーンカーボンが地域の方や糸島市と協定等結び、建設している太陽光発電所だ。そのような形で、環境と地域にも配慮できる電力を意識して今後増やしていくことは本当に大切なことだ。そういった電力を開発していくことが、環境を守ることに繋がる。意見を受けて今後も検討を進めていく。

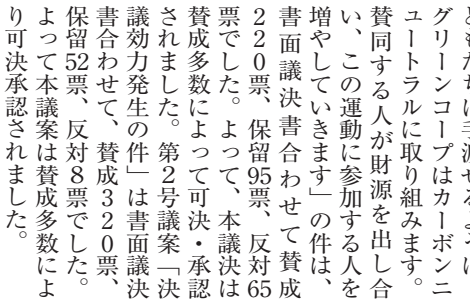
採決



支部に順番で入れていくかなど、これから組合員でも検討していく。今の情報で難しいと思われるのであれば反対を挙げていただいてもいい、自分自身は難しいと思うが、カーボンニュートラルを進めてよいと思う他の人が、そのためにお金を出すという仕組みなら良いと思われるのであれば、賛成にさせていただきます。自分は1%出したいという気持ちで、今後いろんな検討を進めていく中で、それなら提出していいと思つた時に、自分が参加できる仕組みができると思つていただけたらいいかと思つた。

総代N 採決をするに当たり判断に迷っている。私はみどりの地球をみどりのままに子どもたちに手渡したいという思いは大賛成だ。カーボンニュートラルに取り組みますというところ、このカーボンニュートラルだと思ったら賛成だが、これは反対。例えばEV車はどうなのかと思う部分もあれば、農地を守るとか、植林をするとかは賛成したい。どちらに手を挙げていいか迷っている。賛同する人が財源を出し合い、この運動に参加する人を増やしていきますというのもどう判断していいかわからない。賛同できる部分はあるがこれは違う部分もあり、どちらに手を挙げていいか分からない。

坂本理事長 最も審議していただきたいところは、カーボンニュートラルの財源の集め方として、同意していただく組合員から商品代金の1%を拠出していただく。同意されない組合員からは拠出いたさない。同時に理事会を先頭にみんなより多くの組合員の同意を得られるように呼びかけていく。カーボンニュートラルに取り組みます。賛同する人が財源を出し合い、この運動に参加する人を増やしていきます。この件は、書面議決書合わせて賛成220票、保留95票、反対65票でした。よって、本議決は賛成多数によって可決・承認されました。第2号議案「決議効力発生」は書面議決書合わせて、賛成320票、保留52票、反対8票でした。よって本議案は賛成多数によって可決承認されました。



議長 出席97名、書面議決283枚で、有効票数は380です。採決の結果につきまして報告させていただきます。総代会の議決は有効票数の過半数の賛成をもって可決されます。

議長 第1号議案、「みどりの地球をみどりのままで、子どもたちに手渡せるように、グリーンカーボンはカーボンニュートラルに取り組みます。賛同する人が財源を出し合い、この運動に参加する人を増やしていきます」の件は、書面議決書合わせて賛成220票、保留95票、反対65票でした。よって、本議決は賛成多数によって可決・承認されました。第2号議案「決議効力発生」は書面議決書合わせて、賛成320票、保留52票、反対8票でした。よって本議案は賛成多数によって可決承認されました。

坂本理事長 皆さん長い間の臨時総代会のご審議ありがとうございました。冒頭に、今回は3人の方から来賓の挨拶をしていただいています。最初に、いつも産直の野菜を作ってお金を出すと、松尾さんからお話を聞けたと思います。地球温暖化、気候危機と言われている中、南極の話や海外の話も聞いて、なかなかピンとこないことはあると思います。水害など日本の色々な場所でも災害が起こり、何だか昔とは違つて感じています。それが自分に直結しているのは、限定的な被害に遭われた方の方が多いかと思つています。でも、こうして自分に届けていただいている野菜を作られている方から、5、6年前とは様子が違つていくのを聞くと、やっぱり何かが変わつてきている、その時に自分が何をするかと考える、そのきっかけになったのではないかと思つています。松尾さんが「ちよつとずつの積み重ねで良い未来にしていきたい」と言われていました。もちろんそれは皆さんも感じられていることかと思つています。皆さん4Rに取り組み、国産のものを食べたり、色々なことを生活の中で工夫されていると思つています。そのあとの河村さんは、「グリーンカーボンのワーカーズであるからこそ、地球に優しい人でありたい」と言われて、暑くてもやっていると聞かれました。私達は配達の商品を受け取れなくなります。そうならないように、配達の方が、今まで携わってきた意義ある仕事をこのまま続けたいと言われれば、一緒に環境を作っていくことも、グリーンカーボンとしてやらなければいけないことだと感じました。今日は皆さんからたくさんのご意見をいただきました。お答えもしてきましたが、まだまだ一緒に考えていけないといけないものもある



と思います。理事会はまだ謝罪ができていないというところ、これは理事会で引き取るとお伝えしたもので、このことはきちんと考えていきたいと思つています。どう呼びかけていくのか、財源の集め方も色々な方法を皆さんと一緒に考えていきたいと思つています。今日は220名の方に賛成いただいた。昨年同様、引き続きこの検討が、一歩前に進んだと思います。まだ一歩前に進んだだけで、中身は皆さんと一緒に検討して、きちんと積み重ねていきたいと思つています。オールグリーンカーボンで進めていくこのカーボンニュートラルですが、私たちがおかには、ふくおかの主権があります。皆さんに組合員主権があるように、ふくおかに他者の県とは違つたこともやっています。1%拠出できる方が拠出する。それ以外にも、カンパだつたら拠出できるという方が拠出する、そもそもカーボンニュートラルについてもつと考えると、そのこともたくさん学習会などして、ついででも話していきたいらいいと思つています。学習会での講師の話も聞いた方がいい、という方がいらつしやたら、ぜひ皆さんの方からも声をあげていただきたいと思つています。今日は長い間、最後まで参加していただき、採決していただきました。本当にありがとうございます。

閉会あつち